

胸腔鏡下食道腫瘍の手術を受けられる患者さんへ

患者氏名：

主治医：

担当看護師：

項目	入院	手術前日	手術当日	手術後 1 日目	手術後 2 日目～ 4 日目	手術後 5 日目～ 6 日目	手術後 7 日目～ 9 日目	手術後 10 日目～ 14 日目	退院：手術後 15 日目（入院 18 日目）	
達成目標	・経過について理解し手術の準備ができる		・痛みによる苦痛がない ・痰を出すことができる		・むせに注意して食事を摂取できる				・発熱がない ・退院指導を理解できる	
治療・薬剤 (点滴・内服) ・処置 ・リハビリ	・持参された内服薬を確認します 	・除毛を行います ・21時に下剤を内服します	(手術前) ・手術衣に更衣し、弾性ストッキングを履きます ・2番目以降の手術は朝から点滴をします  (手術後) ・人工呼吸器を装着します ・手術から帰って来たら心電図、フットポンプを装着します ・傷部に管（ドレーン）が入ります 	・全身状態に応じて人工呼吸器が外れます ・痛みの程度に合わせて鎮痛剤を使用します ※痛みは我慢せずにお知らせください ・創部を確認し、必要に応じて消毒・ガーゼ交換を行います ・状態により点滴、管（ドレーン）を抜きます ・状態にあわせて歩行練習を開始します			・潰瘍を予防する薬を内服します 		【退院後の生活について】 (活動について) ・体力回復のため散歩や体操などの軽い運動を日常生活に取り入れましょう ・食後胸やけなどが強い場合は、すぐ横にならず30分以上上半身を起こして安静にしましょう ・身体を休めるために睡眠を十分にとり、規則正しい生活を心掛けましょう ・仕事を始める時期には個人差がありますので医師と相談して決めましょう	
検査	・採血 ・レントゲン 		・採血 ・レントゲン ・手術後はしばらくの間、血糖測定を行います	・採血、レントゲンなどの検査を行う時はお知らせします ・必要に応じて食道の透視検査を行います（日時はお知らせします）		・体重測定	・週 1 回体重測定		(食事について) ・手術後 1ヶ月ほどは、ダンピング症候群予防のため食事を 1日 5～6回に分けて摂取しましょう ・1日 3食に戻す時期は個人差がありますので、外来で医師に確認してください ・食事を取る際は姿勢を正し、むせこみ予防のため、やや顎を引いた状態で飲み込みましょう ・食後にめまい、冷感、動悸、頭痛、腹痛、吐き気等の症状が現れたときはすぐに横にならずに食後30分～1時間は上半身を起こし、リラクセスした姿勢で過ごしてください ・食後に、冷や汗、手が震える、体の力が抜ける、だるい等の低血糖症状が現れた場合は、甘い飴やチョコレートを食べて様子を見てください ※症状が治まらない場合は速やかに病院へ連絡しましょう	
活動・安静度	・制限はありません		(手術後) ・ベッド上安静です (体の向きは変えられますが、看護師がお手伝います)	・人工呼吸器が外れたら安静制限がなくなります (初めての歩行時は看護師が付き添います) ・状態に合わせて活動範囲を広げていきます 			(ダンピング症候群について) 食べ物が短時間で小腸へ流れ込むため食後に冷汗、めまい、動悸、頭痛、腹痛、吐き気などの症状が現れることがありますまた、一過性の高血糖でインシュリンが過剰に分泌されることにより、空腹時に全身の力が抜ける、体がだるい、手がふるえるなどの低血糖症状が現れる現象を言います			
食事	・制限はありません		(手術前) ・麻酔科医が指示した時間以降は飲んだり、食べたりが出来ません (手術後) ・飲んだり、食べたりが出来ません	・栄養剤を腸の管から開始します		・経口で流動食を開始します	・摂取状況により 3分粥から徐々に食事の形態が変わります 			
清潔	・へその掃除を行います ・除毛後にシャワーを浴びてください 		(手術前) ・起床後は歯磨きをします ・肺炎予防のため舌も磨いてください (術後) ・人工呼吸器使用中は看護師が口腔ケアを行います	・肺炎予防のために歯磨きは必ず行ってください ・体拭きをします ・洗髪をします ・傷の管が抜けた後に、医師の許可があればシャワー浴ができます 			(経腸チューブについて) ・退院後は 1日 1回経腸チューブから白湯を注入し、チューブの閉塞を防いでください(退院時に注入用シリンジをお渡しします) ・入浴時は刺入部を泡でなでるように洗って抑え拭きしてください ・適宜、テープ固定の交換をしてください ※入院中に練習を行います ・経腸チューブの抜去は外来で行います			
排泄	・制限はありません ・毎日、尿と便の回数をお聞きします 		・手術中に尿の管が入ります ・手術後に便意がある時はナースコールでお知らせください	・歩行ができれば尿の管を抜きます	・制限はありません		(入浴について) ・湯船につかる時期は医師に確認しましょう ・30分以上熱いお湯につからないようにしましょう 【以下の症状があるときは、病院へご連絡ください】 ・傷口が化膿したり、赤く腫れる ・38℃以上の発熱 ・のどのつまり感が強くなり、食事や水分が摂取できなくなったとき			
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	・主治医より手術についての説明があります ・肺血栓症予防について説明をします ・麻酔科医より手術までに説明があります ・手術室の看護師から説明があります ・集中治療室入室時は説明があります ・手術・麻酔・輸血の同意書を確認します ・手術に必要な物品を揃えます ・マニキュアを落として爪を切ってください ・手術当日は必ず化粧を落としてください ・手術入室時間・手術時間・家族の来院する時間について説明します		・手術後はICU（集中治療室）に入室します ご家族様へ ・手術中は3階デイルームで待機してください ・場所を移動される時は必ずスタッフへお声かけください ・貴重品はご家族で管理してください 	・ICU入室中のご家族の待機場所は家族控室をご利用してください			おだいじに 		【緊急連絡先】 月～金 時間内 (8:30～16:30) 消化器外科外来：0985-85-9885 総合予約室：0985-85-1225 土・日・祝日 時間外 (16:30～8:30) 3階東病棟：0985-85-1769	

※この経過は入院から退院までのおおよその経過をお知らせするものです諸所の理由で経過通りにいかない場合もありますことをご了承ください

宮崎大学医学部附属病院